

FNIRSI

BTM-24

バッテリーテスター 日本語取扱説明書（参考訳）



ご使用前に安全上の注意を必ずお読みください。

翻訳・編集：泰宕商事株式会社

参考訳 v1 / 2026-10-12

参照原本：BTM-24 Battery Tester Manual V1.0、英語本文16～34ページ。図・記載差異は同一原本の中国語本文で照合。

本書について

本書はメーカー原本をもとに、操作・仕様・安全上の注意を日本語で翻訳・整理した参考訳です。メーカー公式の日本語版ではありません。画面の文言、仕様、付属品が異なる場合は、実機の型番・ハードウェア版と対応するメーカー原本を確認してください。

メーカー原本の操作・仕様・安全注意を日本語で再構成した参考訳です。

構成

1. 安全上の注意
2. 概要・各部・キー
3. 起動・システム設定
4. バッテリー測定・パラメーター
5. 規格入力の場合・原本の不一致
6. 始動測定・状態判定
7. 負荷測定
8. 充電測定
9. 仕様・ファームウェア更新
10. 故障対策・保守・メーカー保証

1. 安全上の注意

- ・高温、裸火、腐食性ガス、湿気、ほこりの多い場所を避けてください。バッテリーから発生する水素などの可燃性ガスが蓄積しない、十分に換気された場所で使用してください。
- ・強い電磁界、大型モーター、変圧器の近くでは測定に影響するおそれがあります。ヒーター、エアコンの吹出口、高湿度、水、化学薬品、強い磁性を持つ機器から離してください。
- ・クリップとケーブルの絶縁に破れ、露出、断線がないことを確認します。緩い接続や接触不良は発熱・火花の原因になります。
- ・バッテリー液の飛散やエンジンからの異物に備えて、保護眼鏡などの保護具を使用してください。外観、画面、キーの異常がある機器は使用せず、定期的な点検・校正・保守を行ってください。
- ・廃機器・廃バッテリーは家庭ごみに混ぜず、地域の規則に従って処分してください。

原本の接続注意に矛盾があります

安全章は「バッテリー／テスター通電中は端子の抜き差し・バッテリー交換を禁止し、電源を切り電圧がゼロになってから操作」と記載します。一方、操作章はバッテリー端子への接続で本機が起動する方式です。バッテリーを意図的に放電してゼロVにする指示として解釈しないでください。具体的な接続・切離し手順、車両との適合はメーカーと車両側の説明書で確認してください。これは編集上の注意です。

2. 概要・各部・キー

BTM-24はバッテリー電圧、内部抵抗、始動、負荷、充電状態を測るテスターです。原本は自動車、電力、通信、工業・医療機器などの用途を挙げていますが、すべてのバッテリー・システムへの適合を保証するものではありません。

各部・操作	内容
カラー画面	操作メニュー、電圧、判定、曲線などを表示。
上／下／左／右キー	短押しで対応方向へ選択。上キー長押しで機能モジュールを終了。
OK／戻るキー	短押しで確定・測定。長押しで戻る。
警報灯	測定値が基準値より低いと赤く点滅。
Type-C	ファームウェア更新。操作章には外部給電による起動も記載。
赤・黒の測定クリップ	対象バッテリーの対応端子へ接続。極性を確認してください。

メイン画面はBattery（バッテリー測定）、Start（始動測定）、Load（負荷測定）、Charge（充電測定）、System（システム設定）です。原本の「System Measurement」は設定メニューを指します。

3. 起動・システム設定

対応するバッテリー端子ヘクリップを接続すると、本機が給電されてメイン画面へ入ります。または側面のType-Cへ給電ケーブルを接続して起動します。Type-Cの定格電圧・電流は参照原本に明記されていません。

メイン画面で方向キーによりSystemを選び、OK短押しで入ります。言語項目を選んでOK短押しで切り替えます。対応言語は簡体字中国語／Englishの2種類です。本書が日本語でも本機の日本語表示を意味しません。

テーマは昼間／夜間モードです。画面にはバージョン、モデル名、Restore Settings（設定初期化）が表示されます。初期化するとユーザー設定が消去されます。方向キーで選び、OKで確定、OK長押しで戻る、上キー長押しで機能を終了します。

4. バッテリー測定・パラメーター

1. エンジンがかかっている場合は停止し、キーをOFF位置にします。メイン画面でBatteryを選び、OK短押しでバッテリー種類の設定へ入ります。
2. 上／下キーで項目、左／右キーで値を選びます。電圧、規格、バッテリーパラメーターを設定します。パラメーター入力中の左／右長押しで素早く値を変更できます。

項目	原本の内容
電圧・種類	12V、24V、電動車（英語図のBEV）。BEVの電圧・化学系・入力上限は明記なし。
規格	Unknown、CCA、IEC、EN、DIN、JIS#、GB。
CCA設定	0～2000（原本の設定範囲）。測定保証範囲とは区別します。
確定・測定	OK短押しで設定確定、再度短押しで測定。
結果	電圧、選択規格と測定値、内部抵抗、バッテリー状態の百分率と判定を表示。

画面図・適合について
英語画面図にはDIN／GBに相当する位置にDIAが重複していますが、英語本文と中国語本文はDIN／GBを列記しています。画面の実表示を確認してください。BEVという選択肢だけを根拠に、高電圧の駆動用バッテリーやリチウム系全般へ接続しないでください。対応化学系・最大入力電圧はメーカー確認が必要です。

5. 規格入力 の例・原本の不一致

バッテリー表示例	選択・入力（原本）	原本の説明
12V／60Ah／CCA 500A	CCA、300	冷間始動電流500Aと説明するため、入力300と不一致。
300A EN	EN、300	ENの値300A。
12V 250A 60Ah DIN	DIN、250	DINの値250A。
26A 19RMF 12V 60Ah	JIS#、200	26A19Rに対応するCCAは200と説明。
同じ26A 19RMF表示	JIS#、200	MFに対応するCCAは220と説明し、入力200と不一致。
12V 60Ah	Capacity、60Ah	規格不明時に容量からCCAを推定する例。

上表は原本の例を差異ごと記録したものです。矛盾する例の入力値をそのまま採用せず、対象バッテリーに表示された規格・定格値、正しいJIS対応情報を確認してください。Capacityの選択手順は原本に詳述されていません。

排気量（原本の参考）	推定CCA
1200～1600cc	350
1600～2000cc	500
2000～3000cc	650
3000cc以上	750

推定値の限界

排気量からのCCA推定は原本の参考表です。境界値が重複し、車種・気候・バッテリー種類などの条件は明記されていません。実際のラベル値の代わりとなる確定値ではありません。

6. 始動測定・状態判定

エンジンを停止してキーをOFF位置にし、Startを選択します。測定画面ではOK短押しが測定操作です。始動中の動的電圧、始動電圧、百分率、判定、参考基準が表示されます。OK長押しで戻る、上キー長押しで機能を終了します。始動タイミングの詳細は参照原本に記載がないため、実際の画面指示と車両説明書を確認してください。

始動性能（原本）	始動電圧
良好	10.2V超
低い	9.6～10.2V
非常に低い	9.6V未満。配線の劣化や充電状態を確認。
バッテリー状態の表示（原本）	百分率
低い	0～60%
普通	60～80%
良好	80～100%

百分率と基準の扱い
原本の「Battery life」は機器の判定表示です。残り寿命の年数や残容量を確定するものではありません。60%、80%の境界は原本で重複し、始動10.2Vの境界も明確ではありません。24V系の始動判定換算は原本に明記されていません。

7. 負荷測定

原本の手順：車両を始動し、Loadを選び、OKを押します。回転数を2000～2500へ上げ、再度OKを押して測定結果を取得します。回転数の単位は原本に明記されていません。操作は車両側の安全条件を守って行ってください。

画面には測定百分率、動的電圧、最低電圧、参考基準、電圧曲線を表示します。OK短押しで測定、長押しで戻る、上キー長押しで終了します。

判定（原本）	12V系	24V系
正常範囲	最低電圧>13.4V	最低電圧>25.6V
低い・点検が必要	最低電圧<12.8V	最低電圧<25.6V

低電圧の場合は、発電機、発電機ベルトの摩耗、配線の短絡などを点検すると原本に記載されています。

判定表の未記載範囲
12V系の12.8～13.4V、24V系の25.6Vちょうどの扱いは原本に明記されていません。異なる数値へ推測で置換しません。

8. 充電測定

Chargeでは動的電圧、最低／最高電圧、充電性能百分率、電圧曲線を表示します。OK短押しで測定、長押しで戻る、上キー長押しで終了します。

原本の充電試験注記は「車両を始動、負荷テストを選択、OKを押し、回転数2500～3000へ上げ、再度OK」と記載します。充電章なのにLoadと記載されており、Chargeとの使い分けはメーカーへ確認してください。回転数単位も明記されていません。

原本の判定	12V系	24V系
過電圧：調整器を確認	最高>15.0V	最高>30.0V
低電圧：接続・配線・発電機を確認	最低<13.3V	最低<26.6V
発電機性能：非常に良好	動的>13.9V	動的>27.8V
発電機性能：良好	動的>13.7V	動的>27.4V
発電機性能：正常	動的>13.5V	動的>27.0V
発電機性能：経過観察	動的>13.3V	動的>26.6V

基準の限界
上記は原本にある判定表示です。各「>」条件は重なり、判定順序は明記されていません。車両メーカーやバッテリーの指定値に優先する普遍的な故障判定ではありません。画面例の最高・最低の数値にも大小関係の不整合があります。

9. 仕様・ファームウェア更新

項目	原本の値
画面	2.4インチカラー
言語	中国語、English
寸法	80.52×155.76×28.15mm
本体重量	約479g

入力電圧上限、精度、内部抵抗の測定範囲、動作温湿度、Type-C給電定格、対応バッテリー化学系は参照原本に明記されていません。12V／24V選択表示と最大入力定格は別です。

更新手順：本機が無給電の状態で下キーを押し続け、給電します。Update画面へ入ったらUSB Type-CデータケーブルでPCへ接続します。PCに表示されるリムーバブルドライブへ、対応するメーカー公式ファームウェアをコピーします。Update画面で下キーを長押しすると本機を起動できます。

更新中の注意
コピー・更新処理中は給電を切ったりケーブルを抜いたりしないでください。処理完了を確認してから起動操作を行います。更新ファイル、対応バージョン、完了表示の詳細はメーカー案内で確認してください。

10. 故障対策・保守・メーカー保証

症状	確認・対処
起動しない	Type-Cの損傷・緩み、クリップの接続、ケーブル劣化を確認。対象バッテリーの消耗も原本の原因候補。接続を変えても改善しなければ修理窓口へ。
画面が表示されない	給電を確認し、安全に給電を切って再起動。表示ハードウェアまたはソフトウェア異常の場合は修理・交換が必要。

・使用環境に応じて月1回程度、柔らかい布で外装を拭きます。アルコール、強酸・強アルカリなどの化学洗剤を避けてください。キー周辺のほこりを除き、端子へ液体や異物を入れないでください。

・乾燥し換気された場所に保管し、直射日光、高温、高湿度、急激な温度変化を避けます。運搬時も落下を防ぎます。

・公式更新の有無を確認し、正しい手順とファイルを使用します。異常時の設定初期化はユーザー設定を消去します。

製造元：Shenzhen FNIRSI Technology Co., Ltd.。原本記載の実施規格はGB/T 31484です。この記載を日本の認証や全用途への適合証明へ拡張しません。メーカー連絡先：support@fnirsi.com、business@fnirsi.com、0755-28020752、www.fnirsi.com。住所：深圳市龍華区大浪街道・偉華達工業園C棟西側8階（原本記載）。

原本の保証説明：販売日からの保証期間内に、取扱説明書どおりの設置・正常環境下の使用で、原材料・加工の欠陥による故障は保証条項に従い無償修理の対象です。保証カードを保管し、紛失時の再発行はないと記載されます。具体的な保証期間は本文に明記されていません。

原本で有償修理となる例：有効な保証カード原本がない、設置が要求・規格に合わない、設置環境の付属品が要求・規格に合わない、不適切な使用・保管・無断分解や修理、保証期間経過。これはメーカー原本の条件の紹介で、泰宕商事の販売条件や保証を新たに定めるものではありません。

保証記録として、型番BTM-24、数量、購入店名・連絡先・住所、請求書／注文番号、購入日、利用者名・住所・連絡先、故障内容を残してください。

参照資料とお問い合わせ

参照原本：BTM-24 Battery Tester Manual V1.0、英語本文16～34ページ。図・記載差異は同一原本の中国語本文で照合。

原本の製造元：Shenzhen FNIRSI Technology Co., Ltd.

メーカー資料：<https://taigo-shoji.co.jp/manuals/fnirsi/btm-24-multi-c5a6f68594dd.pdf>

製品・相談窓口：taigo-shoji.co.jp

お問い合わせ：support@taigo-shoji.co.jp

保証・初期不良対応は購入先の案内をご確認ください。原本にあるメーカー独自の保証延長、販売条件、広告表現は、泰宕商事の保証条件として転記していません。

原本との対応

原本の章・ページ	本書での扱い
英語16～17ページ	安全全項目、接続注意の矛盾を明示。
18～26ページ	各部、全キー、全測定画面と設定を再構成。
27～29ページ	仕様、全判定基準、規格入力例とCCA不一致、排気量参考。
30～31ページ	起動、言語、種類設定、測定、下キーによる更新。
31～34ページ・保証カード	故障対策、保守、製造元・原本保証条件・記録項目。